

TAKE FREE

良い循環を  
つくる。

# エコツ

72

エコムつうしん 72号 -1・2月号-

## 十二支

- ここが知りたい! エコムちゃん  
「LUCKY12」
- ロバのあしあと: 「ロバのパン」

「エコツ」は、地域から地球まで、持続可能な社会を考えるコミュニティペーパーです。



ここが知りたい!  
エコムちゃん

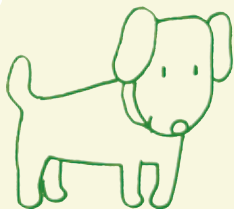
学ぶ

遊ぶ

働く

# 十二支

Eto



普段はあまり意識しないけれど、  
年末年始になると、にわかに話題になるのが、  
子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥の  
十二支だね。

不思議に思うのは、動物名に使われている漢字が、  
鼠、牛、虎、兔、龍、蛇、馬、羊、猿、鶏、犬、猪の  
一般的な表現とまったく違うところ。

そんなこともあって、十二支に登場する動物たちが、  
架空の動物のように思えてくるね。

なぜ、こんなややこしい漢字が使われているのかな？  
そう思って調べてみたら、もともと十二支は、  
時の流れを表す暦や方位を意味する符号のようなもので、  
動物のイメージは後から付けられたものらしいんだ。

でも、そのわかりやすくなったイメージのおかげで、  
現在でも、年賀状の図案や生まれ年を表現する際に  
十二支の動物たちは親しまれ続けているよ。

## 干支

干支とは、生命の成長サイクルをあらわす「十干」(甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)と、時間や方位の概念である「十二支」を組み合わせたもの。それぞれを順番に組み合わせていくと、60年で一周まわって最初に戻るので、干支は全部で60種類あることとなります。60年で一周まわって最初に戻るという「還暦」のお祝いは、ここから来ているのです。





土岐市は、干支の置物がたくさんつくられているまちだよ。



# LUCKY12

岐阜県土岐市は、美濃焼の産地。そこに楽しい干支グッズを製造している会社があるというので、おじゃましたよ。創業が大正13年のその会社は、地域で産出される土にあった“袋物”と呼ばれる神仏具、酒器や干支関連商品を長年つくり続けてきた。一時は人口当たりのクラウン保有率が日本一と噂されていたほど、土岐市の焼き物産業は景気が良かったとか。時は流れ、安価な中国製品が市場を席巻するようになっ



このまちには、いいものをつくっている人がたくさんいると、横井さんは教えてくれたよ。



## ●12個の楽しい器 楽器(らっき)！LUCKY12

酒器、小鉢としても使えるし、伏せておけば、モダンでかわいい干支の置物になる一品。地方産品を選定し、クールジャパンによる地域活性化を推進するプロジェクト「The wonder500」(経済産業省)に選定された。



★三代目社長の横井亮一さん



時代にあったものづくりで、昔のように会社を盛り上げていきたいと考えているよ。



最新作 otemoto。高山木工の曲げわっぱとの融合で、テーブルで使える神仏具を提案。

代を継いだ頃は、生産量が落ち込みはじめていて、これまでと同じ仕事をやっているとダメだと感じていました。血筋なのか、ものづくりは好きでしたから、楽しいと思えるものを作りたかったんです。そこで、発案したのが「LUCKY12」。若い人に使ってもらえるように、モダンなデザインにこだわりました。「こんなものをつくってどうする？」と言われた時期もありましたが、この干支グッズがうちにラッキーを運んできました。

有限会社 ヤマ亮横井製陶所  
岐阜県土岐市下石町 165-4  
電話 0572-57-6718

ヤマ亮横井製陶所の横井さんは、  
土岐の焼き物産業はいろいろな顔があると言っていました。  
せっかくここまで足を伸ばしましたので、  
観光案内所を兼ねた「まちゆい」を起点に、まちの様子を紹介します。



## まちゆい

こだわりの逸品を集めたコンセプトショップ。お土産物を探したり、カフェでくつろいだり、美濃焼を体験をしたり・・東濃地域のとっておきをひとまとめに。土岐をぷらぷらする前の情報収集に便利です。



土岐市では、現在でも 200 を超える窯元が陶磁器を生産。伝統的な工芸品から現代的なテーブルウェアまで、その種類はさまざまです。また、レンガ造り煙突が残る街並み、窯跡や資料館、陶芸体験が楽しめる工房など、美濃焼の奥深さに触れられるスポットが点在しています。

おろし・つまぎ

## 下石・妻木エリア



とつくりの生産地として栄えた下石町。裏山地区では、有志がオリジナルキャラクター「とつくりとつくん」を考案。路地のあちこちに、ユニークな表情のとつくんが設置されています。妻木町には、室町時代に土岐明智彦九郎頼重が築いた妻木城の跡地が残っています。

## 泉・土岐津エリア



国指定史跡「元屋敷陶器窯跡」(織部の里公園内)や土岐市の陶業発祥の地とされる「隠居山遺跡」が残っており、美濃焼の歴史を堪能できることのできるエリア。また、ゴールデンウィークには「定林寺まつり」、10月には土岐津町で「あかりの夕べ」が開催されます。

だち・のうなん

## 駄知・濃南エリア



どんぶりの生産が盛んな駄知町。千年以上の歴史を誇り、今でも古いレンガの煙突を見られます。ゴールデンウィークには「だち窯まつり」、10月には「駄知どんぶりまつり」が開催されます。濃南地区の三国山展望台からは、御岳山や恵那山などを一望できます。

# 十二支の性格は？

～あなたは何年？～

大昔、神様に「元旦の朝に挨拶に来た12番目までを、順番に交代でリーダーにする」と言われて、動物たちが競うストーリーは、十二支の順番を決める話として有名ですね。



環境適応能力が高く、機転が効きます。知的好奇心が高く、気になりだすとじっとしていられません。温厚そうに見えますが、内面は好き嫌いが激しいタイプです。



正直で裏表がなく、いつも明るくい人気者。慎重さに欠けるので、長期的な目標を持ち続けるのが苦手です。一途で情に流されやすいので、騙されやすい面があります。



一歩ずつ進んでいく、辛抱強い働き者です。自ら道を切り開きたいという気持ちが強く、人に頼るのが苦手。人見知りにより、コミュニケーションに時間がかかります。



穏やかに見えますが、実は芯が強い人です。争いごとを嫌う平和主義者でも、地に足をつけて、物事を計画的にこなしますが、慎重になり過ぎると前へ進めません。



華やかさがあり、ある種のカリスマ性を持っています。虎視眈々とチャンスを待ち、成功をつかみとります。歯に衣着せぬ物言いで相手を傷つけることもあります。



器用で行動力があり、チャレンジ精神が旺盛。人の機嫌を読み取る鋭さがあり、巧みな話術で目上の人から可愛がられます。心配性で、答が出るまで気に続けます。



明るく人付き合いが上手で、愛嬌抜群の「愛されキャラ」です。常識的に動くことができ、礼儀や行儀もきちんとしています。自分本位な要領の良さもあります。



熱中型の凝り性で、オタク気質の持ち主ですが、飽き性な部分も併せ持っています。好奇心は旺盛ですが、妥協ができずに、思わぬ敵を作ってしまうことがあります。



積極的で行動的、エネルギーに一歩も二歩も先を進んでいきます。プライドが高く、悪気はないのですが、上から目線でものを言ってしまうことがあります。



真面目で、人を裏切ることのない堅実な性格の持ち主。リーダー向きです。人の欠点が目につくため、「あなたのために言ってるの」という類のお説教しがちです。



プライドが高く束縛を嫌いますが、察知する能力に長けてます。心を開かない面があり、孤立しがちですが、知的でユーモアに溢れているので、慣れると面白い人です。



やると決めたらやり遂げる人で、余程のことがない限り挫折しません。また、相手が誰であろうと物怖じしません。どちらかといえば無口で、意思表示が苦手です。

# ロバの あしあと 懐かしくて、あたらしい。 昭和ムードで、地域を盛り上げています。

「ロバのパン」は、昭和の初めからフランチャイズチェーンの先駆けとして、パンの移動販売を全国展開していました。ユニークなのは、音楽による宣伝方法。庶民は誰もが貧しかった頃ですから、楽し気なメロディが聞こえてくると、みんなソワソワしたようです。そんな「ロバのパン」が岐阜エリアに復活したのは、2009年。年齢を重ねた方には懐かしく、若い人には斬新さを感じさせる再登場でした。老人福祉施設への訪問など、パンの移動販売を通して、地域を盛り上げています。



みんな大好きな「ロバのパン」。3世代が触れ合う場面になっています。

住宅展示場でのイベントに「ロバのパン」参上。



ママの会は、とてもすてきな取り組み。皆さんのやる気にあふれた姿を見るのが、励みになっています。

イベントのちらしを配っていただくなど、「ロバのパン」さんには会の活動をご支援いただいています。

グローバルママの会は、忙しいママさんたちの余暇活動を支援する団体。この日はそれぞれ得意技を披露し、学びあえるイベントを開催。雑貨販売、ものづくり体験などのブースが立ち並び、楽しいひととき。「ロバのパン」は、そんな空間を盛り上げようと、昔ながらの蒸しパンを提供しました。

ロバのパン代表渡辺真理子さん(左)と  
グローバルママの会、松本貴代子さん(右)さん

information

一恵庵 ロバのパン工房

岐阜県岐阜市岩栄町 2丁目 17番地  
三栄ビル 1階 TEL:058-213-8188



「ロバのパン」は、移動販売のパン屋さん。昔懐かしい移動販売車で、岐阜市を中心に半径約1時間以内の地域を巡回しています(他の地域への訪問もあり)。本コーナー「ロバのあしあと」は、販売エリアの魅力スポットをエコツアー独自の視点で紹介しています。

エコツアー **72**

平成29年12月発行

発行：エコムカワムラ株式会社  
岐阜県安八郡輪之内町里85番地の3

TEL 0584-68-2033 (代)

制作：いしいデザイン mail@ishii-design.info



「エコツアー」Facebook

<https://www.facebook.com/ecotsu/>

